

2024年度
スローガン

挑戦に終わりはない 輝ける未来のために 全力を注ごう！

2024年度 外報紙



9月例会

篠ノ井駅前ロードサインプロジェクト

企画担当 ■ 未来を担う会員拡大室 ■

9月29日(日)

篠ノ井駅前ロータリー

二〇二四年九月二十九日(日)、篠ノ井駅前ロータリーにて(公社)南長野青年会議所九月例会「篠ノ井駅前ロードサインプロジェクト」を開催いたしました。

(公社)南長野青年会議所は地域のために日々活動を行っています。しかしながら地域住民でも当団体の存在を知らない方が多いのが現状です。その原因の一つとして視覚的に当団体のアピールが出来ていない現状があると考えました。まずはこの地域に住む方に向けて南長野青年会議所の存在を広く知っていただき、会員拡大につなげることでより多くのメンバーたちと南長野地域の課題を解決し、社会開発する必要があると考え、本事業を実施いたしました。

本例会の象徴とも言える看板には「若い力で地域を興そう！会員募集中」という力強いメッセージを掲げることが出来ました。このメッセージは、篠ノ井高校の書道部によって丁寧に揮毫され、書の町としての篠ノ井の文化も感じさせるものになりました。また、看板の下部に配置したQRコードを読み込むことでスマートフォンを使う方々が直接当団体のホームページにアクセスすることができ、過去の例会内容や会員募集の情報を確認することが出来ます。会員拡大を目指す私たちの取り組みに対して、一層の注目が集まることを期待しています。



室長所感

青木 充

今回の例会は、篠ノ井駅前に私たち(公社)南長野青年会議所の看板を設置することで私たちの存在と活動を広く知っていただき、会員獲得につながると思います。今回の例会の企画立案を進めてまいりました。

本例会の象徴とも言える看板には「若い力で地域を興そう」という力強いメッセージを掲げました。このメッセージは、篠ノ井高校の書道部によって丁寧に揮毫され、書の町としての篠ノ井の文化も感じさせるものになりました。また、看板の下部に配置したQRコードを読み込むことでスマートフォンを使う方々が直接当団体のホームページにアクセスすることができ、過去の例会内容や会員募集の情報を確認することが出来ます。これにより、会員拡大を目指す私たちの取り組みに対して、一層の注目が集まることを期待しています。

掲揚式の日、篠ノ井高校書道部の生徒たちも参加し、看板をお披露目することが出来ました。

このプロジェクトを通じて、私たちは地域社会に対する責任と青年としての使命を再認識いたしました。篠ノ井という素晴らしい地で、これからも青年会議所としての貢献を続けていく所存です。地域の皆様とともに、更なる飛躍を目指して参ります。

10月例会

『MNCパワーアップ!! 2024 in TOGAKUSHI』

10月19日(土) 戸隠神社 長野県長野市戸隠神社三五〇六付近

企画担当 ■ MNC共勇委員会

二〇二四年十月十九日(土)、戸隠にて、十月例会『MNCパワーアップ!! 2024 in TOGAKUSHI』を行いました。

当日は奥社駐車場より、九頭龍社、奥社、中社とめぐり、その道中においても、観光案内を受け、戸隠の魅力、そして神域の力がどのようなものか教えていただきました。参拜の際も皆で手を合わせ、各々これからの日々がよいものであることをお祈りすることが出来ました。普段運動不足のメンバーにとっては、少々きつい距離であり、普段からの運動の大切さも学べるという例会になりました。トレッキング中は参加メ



ンバーがベアとなり、互いに声を掛け合いながら目的地を目指し、共に苦楽を分かち合うことで、絆がより深まったのではないだろうか。是非皆様も戸隠の地の魅力と、普段運動から離れてしまっている方は、運動不足解消とし訪れていただきたいと思います。



副委員長所感

渡邊 行伸

十月十九日(土)、戸隠にて開催された十月例会『MNCパワーアップ!! 2024 in TOGAKUSHI』。今回は「健康第一! 体力作り」で大事だよー」をテーマに、戸隠神社周辺をトレッキングしました。日頃から「なんか最近疲れやすい。」なんて声が聞こえる皆さんも、青年経済人として、そして地域のリーダーとして「自分の体力どのくらいある?」を再確認。健康管理はもはや義務! さらに、運動不足を解消し、ストレスを吹き飛ばし、仕事も家庭もJC活動も全部欲張るには、やっぱり体力と健康が命綱です。今回のトレッキングで、体力作りの大切さをしっかりと叩き込まれたはず。そして今回の例会、もう一つの隠れテーマがありました。それはズバリ、「メンバー間の絆を深めよう!」です。いつもと違う空気感の中で、メンバー同士が息を切らしながら和気あいあい語り合い、笑いあり、苦しそうな顔あり、「もう帰りたい!」という声もちらほらありました。が(笑)、そんな中でみんなの笑顔が輝く、最高に楽しいJCタイムとなりました。

今回の例会を機に、「一緒に頑張ったよな!」という謎の連帯感が芽生え、さらに仲間意識が強まりました。これをきっかけに、会全体が「俺たち最強じゃない?」と思えるような一体感に包まれ、ますます盛り上がり上がっていくこと間違いなしです!

JCI-KOREA西大邱訪韓事業

10月24日(木)・25(金)・26(土) 大韓民国 西大邱市

担当 ■ MNC共勇委員会

二〇二四年十月二十四日(木)、二十五日(金)、二十六日(土) 南長野青年会議所「JCI-KOREA西大邱訪韓事業」を行いました。

この事業には南長野青年会議所から六名の代表者が参加し、韓国を訪問しました。一行は西大邱青年会議所五十周年記念式典に出席し、その後、西大邱青年会議所の皆さまの丁寧なアテンドのもと、西大邱を中心とした観光地を巡り、現地の文化や歴史に触れる貴重な機会を得ることができました。特に、西大邱地域の豊かな伝統や温かい人々との交流を通じて、両青年会議所の絆がさらに深まる契機となりました。

今回の訪問を通じて、互いの文化を尊重し合いながら築いてきた友好関係の大切さを改めて実感することにも、この友情が時代の変化や困難に左右されることなく、悠久にわたって続いていくことを心から願っています。私たちは今後も、国境を超えた友情と協力の精神を胸に、さらなる発展と交流を目指して活動が続けてまいります。



11月例会

11月16日(土) 南長野運動公園

地域の安全を守る！防災フェスティバル

企画担当 ■ 輝ける未来共創委員会

二〇二四年十一月十六日(土) 南長野運動公園にて、十一月例会「地域の安全を守る！防災フェスティバル」が開催されました。

二〇二四年一月一日に発生した令和六年能登半島地震を筆頭に、本年も災害救助法の適用対象となる災害が各地で発生しました。私たちが活動拠点とする長野市においても、令和元年台風十九号災害で甚大な被害を受けたことは記憶に新しいところです。被災した際に、被害を最小限にとどめるために災害に備えた準備は重要となります。そのために、災害対応について関心を持ってもらう機会が必要と考え、本事業を実施いたしました。当日は約二〇〇名の親子の方々に参加いただき、防災について楽しく学んでいただきました！



委員長所感

酒井 信治

二〇一九年に発生した令和元年台風十九号災害から五年が経過し、長野市内でも防災に関するイベントが各地で開催されました。その中で、十一月例会「地域の安全を守る！防災フェスティバル」を開催いたしました。

当日は、南長野運動公園のUスタジオ前の駐車場の一角をお借りし、長野南警察署や篠ノ井消防署、長野市総務部危機管理防災課等にご協力を頂いて、災害関係車両の展示、避難所で使われる段ボールベッドや間仕切り、簡易トイレの設置、消火器やAEDの使用体験、防災備蓄品の展示、ARによる疑似災害体験コーナー、災害時に活用できるグッズの作成などができるブースなどを設置しました。

当日は、合計二〇七名の方々に参加してもらうことができました。災害はいつ発生するか予測できるものではなく、常に災害に備えた準備を整えておく必要があります。本例会に参加した方々が、少しでも災害対策に関心をもってもらい、災害対策を始めるきっかけとして頂ければ幸いです。



12月例会

12月17日(火) Bar Brown Base

第六十三期生卒業式

企画担当 ■ 未来を担う会員拡大室

二〇二四年十二月十七日(火)、Bar Brown Baseにて公益社団法人南長野青年会議所十二月例会「第六十三期生卒業式」が執り行われました。本年は藤岡秀一君、渡邊行伸君、小林陽祐君、児島翔君、山岸勇貴君の五名が四十歳を迎え、卒業となりました。同日、二〇二四年度第三回通常総会において、卒業証書の授与および卒業記念品の贈呈が行われました。

その後、Bar Brown Baseにて本年度最後の卒業生を交えた会食が行われ、卒業生それぞれが卒業に際しての思いを、残るメンバーへ向けてスピーチしてくださいました。五名の卒業生は、南長野青年会議所への感謝の気持ち、青年会議所活動で得た経験をもとに卒業後どのような道を歩むのか、そして残るメンバーにどのように行動してほしいのかを、熱い想いを込めて語られました。

青年会議所は四十歳までという期限がある活動です。この南長野の地で、地域を想う青年たちが集まり、それぞれの情熱を持って活動してきました。そのメンバーが卒業を迎えることは、四十歳まで無事に活動を全うできた喜びと同時に、仲間が去っていく寂しさが入り混じる、感慨深い例会となりました。



12月17日(火)

長野商工会議所 篠ノ井支部 二階大会議室

第三回通常総会

担当 ■ MNJC共勇委員会

二〇二四年十二月十八日(火)、長野商工会議所篠ノ井支部二階大会議室にて(公社)南長野青年会議所二〇二四年度第三回通常総会が開催されました。本年最後となる通常総会では、第一号議案「二〇二五年度事業計画(案)」承認に関する件、第二号議案「二〇二五年度収支予算(案)」承認に関する件、第三号議案「二〇二五年度出席義務に基づく会合基準開催回数(案)」承認に関する件と本年に関する事項が三つ上程され、無事全ての議案が可決されました。



2025年度理事紹介

理事長	君氏氏	君君君君君君君君君君君
理事	基一秀	隆陽亮信
監事	飯岡林	神小酒
副理事長	田岡林	神小酒
専務理事	青古池	宮黒小池
副専務	伊藤奈	藤純裕
委員	上伊藤	岸小伊藤
事務局次長	古川	
事務局		
議副		



また総会後半において、各副理事長、専務理事のバツジの継承が行われるとともに、理事長 藤岡秀一君から、次年度理事長 飯田一基君にバツジとともにプレジデンシャルリースの継承が行われました。本年一年間、南長野青年会議所を先導してくれた理事長 藤岡秀一君から次年度を先導する 飯田一基君にバトンを受け渡し完了したことになります。

二〇二四年度は、藤岡理事長のスローガン「挑戦に終わりは無い 輝ける未来のために 全力を注ごう」のもと青年会議所活動に邁進してまいりました。そして来年は飯田理事長の「未来を創る 変革の一步」のもと、青年会議所活動に邁進してまいります。

二〇二四年度御礼

二〇二四年度、理事長の職をお預かりさせていただくにあたり「挑戦に終わりは無い 輝ける未来のために 全力を注ごう」をスローガンに掲げ、この南長野地域の為に何が出来るか、現在より未来を豊かにする為には何が必要かを捉え、直面する課題に向け全力で挑戦してもらうことを目標に一年間JC運動を推進させていただきました。

この一年を振り返ってみると、一月一日に発生した能登半島沖地震という大災害から一年がスタートし、さらにはLDM会員数が創立以来過去最少人数という厳しい船出となりました。この会員数減少に歯止めをかけるべく本年の拡大目標を一〇名と定め、上半期はすべての委員会にて時代に即した様々なコンテンツを用いて会員拡大系例会を開催し、全会員で拡大に向け注力致しました。結果として四名の新入会員の獲得に繋がりましたが、目標に届かなかったのはひとえに理事長である私の責任だと痛感しております。しかし全会員で会員拡大に向け、同じ方向を見て動き、活動出来たことは大きな成果であり、この経験は次年度に生かしていただきたいと思います。

青少年育成事業においては、本年も「わんぱく相撲長野場所」を開催し二二〇名という大変多くの参加登録をいただきました。しかし一方で、それを運営する会員の減少は大きな課題でした。設営作業にかかる時間と労力が想定以上に大きく、事前準備においては委員会をはじめ会員皆に本当に苦勞をかけたと思います。しかし、一人ひとりの協力で団結力を発揮し事業は大成を収めました。選手たちの熱気あふれる取り組み、観客の

応援、そして会員

皆の努力が一体となり、素晴らしい大会となりました。全ての参加者が満足できるような事業だったと自信を持ってまいります。

社会開発事業では「まち」と「ひと」が一体となり、未来への希望を見いだせる事業として「防災フェスティバル」を開催致しました。議案作成の段階から担当委員会は多くの時間を費やし、悩み、何度も議案の修正をしていたいただきました。その甲斐あってか事業には二〇〇名を超える多くの地域住民の方が参加してくれました。特に親子での参加が目立ち、世代を超えて今後の防災について学び、体験をして頂きました。

国際交流事業では、姉妹JCであるJC KOREA西大邱との訪韓事業を行いました。私自身JCに入会してから三度目の訪韓事業になりましたが、西大邱メンバーの温かい歓迎、そしておもてなしの精神には毎回驚かされます。改めて民間交流の大切さやJCとしての繋がりが、四〇年を超える交流の絆の深さを感じるとともに、JC KOREA西大邱創立五〇周年という大変重要な節目を共に祝えたことを大変嬉しく思います。世界情勢は常に変化します。しかし変わらぬ熱い交流で共にさらなる絆を紡いでいきたいと考えます。

二〇二五年度も少ない会員数での船出となりますが、青年らしく英知と勇氣と情熱を以って様々な事業に挑戦し、新たな青年会議所運動を発信していきたいと思っておりますので、皆様には変わらぬご指導ご協力をお願い致します。

一年間誠に有難う御座いました。



理事長 藤岡 秀一

編集後記

平素より、南長野青年会議所の活動にご理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。気が付けば、今年もあっという間に師走を迎え、外報紙「かがり火」の今年最後のVol.3をお届けする運びとなりました。本年度も九月から十二月にかけて、多くの事業を実施してまいりました。振り返りながら記事を書く中で、理事会や委員会での熱い議論、事業準備に追われた日々、例会当日の活気ある雰囲気、そして何より参加者やメンバーの笑顔が鮮明に思い出されます。事業に向けて数か月かけて準備を進めてきたはずなのに、その一つひとつがあったという間に過ぎ去ったように感じます。それほどまでに濃密で充実した時間を過ごせた一年だったと実感しております。

二〇二四年は藤岡理事長の「未来を創る 変革の一步」を掲げ、メンバー一同が地域に笑顔と感動を届けるべく、ひたむきに取り組んだ一年でした。この南長野の地に暮らす一員として、地域に少しでも貢献できたことを誇りに思います。

そして、二〇二五年は、誠実で温かいお人柄を持つ飯田理事長のもと、新たな目標に向かってさらなる挑戦を続けてまいります。これまで以上に地域に笑顔を届ける活動を展開していく所存です。皆様の変なご支援をいただければ幸いです。

最後に、私自身、この編集後記を担当してきたことは非常に意義深い経験となりました。南長野青年会議所の活動を通じて、皆様にその思いや取り組みをお伝えできたことは大きな喜びであり、この役目を果たしたことに感謝の気持ちでいっぱい입니다。

本年も一年間、温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。二〇二五年も、より一層努力してまいりますので、引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

MNJC共勇委員会 上條 裕太

公益社団法人 南長野青年会議所

〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL : 026-292-2310 FAX : 026-293-5709

E-mail : minaminaganojc@herb.ocn.ne.jp

発行元：MNJC共勇委員会

編集長：上條 裕太

印刷所：有限会社サクセス

ホームページ更新中！是非ご覧下さい！！

南長野青年会議所

検索

かがり火のバックナンバーはホームページでご覧ください。

